

フロントローディングについて
(案)

平成 30 年 6 月 15 日
宇宙科学・探査小委員会

平成 30 年 6 月 15 日に開催された宇宙科学・探査小委員会での議論を踏まえ、JAXA において実施される「フロントローディング」については以下の通りとする。

以下の活動により、宇宙科学・探査プロジェクトの着実な実施を目指す。

1. フロントローディング

フロントローディングとは、「革新的／ハイリスクのミッションにおけるクリティカル技術の事前実証を実施する」こととし、

具体的には、

- ・プロジェクト化（＝「開発」に移行）が有望なミッションに関し、
- ・ミッションのプロジェクト化前に、
- ・そのミッションにとってクリティカルなキー技術について、
- ・技術の事前実証を

実施するもの。

その際、ISAS のみならず JAXA 他部門や大学等の他機関との連携強化により、人的リソース（特に若手研究者）を強化して取り組み、基盤経費とは別の資金を確保して対応するものとする。

2. フロントローディングに期待される効果

フロントローディングにより、

- ・開発スケジュール遅延の回避
- ・コストの抑制あるいはコストのオーバーラン解消
- ・若手研究者の育成
- ・ISAS としての技術開発能力と課題解決能力の強化

が可能となる。

3. フロントローディング前のミッションのブラッシュアップ

なお、フロントローディングとは別に、ISAS においては、

- ・ミッション提案の段階について、
- ・プロジェクトとしての成立性の検討を
- ・基盤経費を用いて

実施し、新規ミッション創出の強化を図る。